

■ フジエテキスタイル 新作発表

さてこのたび弊社では、日ごろよりインテリアのプロの皆様にご愛顧いただいております「フジエコレクションID2」を一新し、「フジエコレクションID3」として発売いたします。

10月2日(水)～6日(水)の会期で新作発表会を開催いたします。また毎日2回、フジエテキスタイルが出展しました9月のパリのメゾン・エ・オブジェ展のレポートと新作生地の説明会を開催します。ご多忙中のところ誠に恐縮ではございますが、是非ともご来場くださいますようお願い申し上げます。

担当：商品開発部部長/山本信比古 チーフデザイナー/松岡恵子

メゾン・エ・オブジェレポート&説明会

日時：2007年10月2日(水)～6日(土) 10:00～18:00(最終日16:00まで)

場所：フジエテキスタイル本社ショールーム

〒151-0053 東京都渋谷区代々木4-33-10トーシンビル5F

TEL：03-3378-8850

交通案内：京王新線「初台駅」東京オペラシティ口徒歩3分

詳細はホームページの地図をご覧ください。http://www.fujie-textile.co.jp/

全国各地での同イベントの日程もホームページの新着情報欄でご確認いただけます。

- ・10月2日(火) 4日(木) 6日(土)
1回目 11:00～12:00 / 2回目 14:00～15:00
- ・10月3日(水) 5日(金)
1回目 11:00～12:00 / 2回目 17:00～18:00

■ 町名由来板



仕事で南品川に行った。その帰り道、ふと見ると枝ぶりの良い松の木がもよぎ形に道に掛かっていた。立て看板をみると「品川宿の松」とある。此の松は、旧東海道品川宿のシンボルとなる「街道松」として、東海道が取り持つ縁で、三十九番目の宿場があった静岡県浜松市の有志より品川区に寄贈された樹齢約80年の黒松です。これは「品川宿の松」と命名され、街道の一隅にありました。此の品川宿は徳川幕府と同時に出た宿場まちで江戸の歴史と重なります。東海道五十三次の第一番目にあたり、街道最大の宿場町です。目黒川を隔てて南品川宿と北品川宿が置かれていた。現在は旧国鉄の跡地を再開発した高層ビル群と対比し、この古い町並もなかなか興味があります。丁度京急の新馬場が目黒川に掛かって駅舎があり、品川側が北品川で川崎側の改札を出ると南品川である。旧街道筋には休憩所が何ヶ所も設けられていて、自由に利用できます。少し川崎寄りの立会川に掛かっている橋、これは浜川橋。通称「泪

橋(なみだばし)」と呼ばれます。この橋が架けられたのは、徳川家康が江戸に入府した後の1600年頃だといわれています。現在架かっている石橋は1934(昭和9)年に架け替えられたものです。それでも約70年前からある橋で、なぜ「なみだ」なのでしょう。この先を約7分歩くと、そこには鈴ヶ森刑場跡があります。その昔、その刑場で処刑される罪人は、裸馬に乗せられて江戸府内より護送されたそうです。これから死に行く罪人の親族たちは、ひそかにこの橋にやってきて共に涙しながら最後の別れをしたそうです。このことから、この橋は「泪橋(涙橋と書くこともある)」と呼ばれるようになったといえます。悲しい橋ですね。此の鈴ヶ森で処刑された第一号は由比正雪の乱の首謀者、槍の丸橋忠弥だった。平井権八、天一坊、八百屋お七、など有名無名が刑場の露と消えた。

橋(なみだばし)」と呼ばれます。この橋が架けられたのは、徳川家康が江戸に入府した後の1600年頃だといわれています。現在架かっている石橋は1934(昭和9)年に架け替えられたものです。それでも約70年前からある橋で、なぜ「なみだ」なのでしょう。この先を約7分歩くと、そこには鈴ヶ森刑場跡があります。その昔、その刑場で処刑される罪人は、裸馬に乗せられて江戸府内より護送されたそうです。これから死に行く罪人の親族たちは、ひそかにこの橋にやってきて共に涙しながら最後の別れをしたそうです。このことから、この橋は「泪橋(涙橋と書くこともある)」と呼ばれるようになったといえます。悲しい橋ですね。此の鈴ヶ森で処刑された第一号は由比正雪の乱の首謀者、槍の丸橋忠弥だった。平井権八、天一坊、八百屋お七、など有名無名が刑場の露と消えた。

その昔、その刑場で処刑される罪人は、裸馬に乗せられて江戸府内より護送されたそうです。これから死に行く罪人の親族たちは、ひそかにこの橋にやってきて共に涙しながら最後の別れをしたそうです。このことから、この橋は「泪橋(涙橋と書くこともある)」と呼ばれるようになったといえます。悲しい橋ですね。此の鈴ヶ森で処刑された第一号は由比正雪の乱の首謀者、槍の丸橋忠弥だった。平井権八、天一坊、八百屋お七、など有名無名が刑場の露と消えた。

その昔、その刑場で処刑される罪人は、裸馬に乗せられて江戸府内より護送されたそうです。これから死に行く罪人の親族たちは、ひそかにこの橋にやってきて共に涙しながら最後の別れをしたそうです。このことから、この橋は「泪橋(涙橋と書くこともある)」と呼ばれるようになったといえます。悲しい橋ですね。此の鈴ヶ森で処刑された第一号は由比正雪の乱の首謀者、槍の丸橋忠弥だった。平井権八、天一坊、八百屋お七、など有名無名が刑場の露と消えた。



■ 知って、

今年はいノシシの年、世界でいノシシについての記述はないか調べて見たく記憶の糸をたぐり寄せてみた。

ミュケナイに行った時ティリュス宮殿の壁画に『猪狩り』の壁画があったと、私の手帖にあった。調べてみたらアテネ国立美術館に展示されているようで、私はみていません。それは宗教的儀式ではなく狩りを楽しむ、なぐさみのために描かれていたようで、ギリシャ神話には猪は悪の化身として語られている。エリュマントスの山に棲み、その地方の畑を荒らしまわり。最後はヘラクレスに生け捕りされたとあります。どうやら現実状況のようで日本のような干支ではないようです。ミュケナイに行った時の写真をここに貼り付けます。ミュケナイの歴史は古く、BC20世紀頃に北西から南下したミケーネ人はクレタ文明を受け継いで、BC16?13世紀頃に最盛期を迎え、エーゲ海一帯に独自のミケーネ文明を作り上げた。トロイ戦争のギリシャ軍総大将アガメムノンはBC12、3世紀頃の在位と推定されている。映画トロイアで「プラット・ビット」が



アトレウスの宝庫



アトロポリス



獅子門 前1250年

このような城壁は、伝説の巨人キュクロベスによって積み上げられたものと信じていた。それでこのような石像建築を今日でもキュクロベス式と呼んでいます。

演じたミュケナイを中心としたギリシャ軍とトロイア間の戦いを描いています。このミュケナイが発見されたのはドイツ人シュリーマンにより発掘された(1876)かれは1865年日本にきています。「シュリーマンが見た幕末の日本」の中に、日本人は家財道具や土地等のものを必要とせず、かといって芝居や工芸品は良いものがあり人々が豊かに生活しているとか、馬がわらじを履いているなど細かい数字を羅列しながら書いています。ミュケナイと言えば獅子門が有名で、皆さんの中にも、なんとなく記憶のなかにあるのではないかと思います。

その門をここに貼り付けます。面白いのは、BC12位になんとメートルで計れたことです、ピッタリで1センチの違いがなかったことです。写真に書き込んでおきましたので、拡大して見て下さい。 情報委員 井上

■ 編集後記

今年はい異常気象のせいか、わが家のバラが8月に咲き誇っていました。インド、バングラデッシュ、中国南部などで頻りに豪雨が発生しました。我が国でも大雨が被害を大きくしています。その原因は温暖化でこれは、大気中の水蒸気量を増やしますので、大雨が降ったり、その反対に猛烈に暑くなったりするそうで、8月には40度を越えた熊谷など観測史上初めての所もありました。

情報委員 井上 常雄